

令和2年度〈地方公共団体等職員対象〉維持管理に係る研修・講習会

河川

●河川管理実務者研修（例：河川施設の点検実習等）

1回（令和2年7月（3日間／回））

●水質事故対策支援システム講習会

1回（令和3年1月（1日間／回））

道路

●道路構造物管理実務者研修【橋梁初級Ⅰ、橋梁初級Ⅱ、トンネル】（例：点検実習等）

〈橋梁初級Ⅰ〉 2回（①令和2年7月→11月に延期，②令和2年9月（4日間／回））

〈橋梁初級Ⅱ〉 2回（①令和2年9月，②令和2年11月（4日間／回））

〈トンネル〉 1回（令和2年11月（3日間／回））

機械設備

●排水機場ポンプ設備運転操作講習会 ※緊急事態宣言のため中止

2回（令和2年4月（1日間／回））

※関東地整職員向けと地公体職員向けを1回ずつ開催（計2回）

●機械設備の維持管理（河川）研修

（例：故障事例紹介・診断技術等）

1回（令和2年10月（2日間／回））

地方公共団体支援のための実務者研修（(河川)河川管理実務者研修）

【令和2年度研修】

実践研修 河川管理実務者 〈3日間／回〉

- 目的： 維持管理・更新に係る本格的なP D C A サイクルへの移行を図るにあたっての人材育成の充実の一環として、老朽化による社会的な影響が大きく、点検による安全性の確認が急務となっている河川施設を対象に、実務的な点検評価(堤防等河川管理施設の点検結果評価)の適切な実施(現場実習点検)・評価に重点を置いた研修。更に、民間企業の河川維持管理技術者による講義も交え技術力の向上を図ることを目的とする。
- 対象： 地方公共団体職員及び関東地整職員
- 定員： 20名
- 時期： 令和2年7月8～ 10日
- 場所： 関東技術事務所、利根川水系坂川
- 主な研修内容： 外部講師による講話・河川概論
技術エキスパートによる河川管理施設毎の講義
現地実習及び現地実習に基づく模擬演習
ゼミナール(討論・発表)



現地実習の状況

【令和2年度講習会】

実践研修 水質事故対策支援システム講習会(河川) 〈1日間／回〉

- 目的： 水質事故情報の入力、登録、発信及び事故情報の検索・出力等の一覧の操作を行う「水質事故対策支援システム」を用いることにより、業務の効率化を図る。
- 対象： 地方公共団体職員
- 参加人数： ※平成31年度実績 12名
- 時期： 令和3年1月
- 場所： 関東技術事務所
- 主な研修内容：

水質事故対策支援システム	概要説明
水質事故対策支援システム	操作説明
水質事故対策支援システム	操作体験



操作説明状況



操作体験状況

地方公共団体支援のための実務者研修（(道路)橋梁初級Ⅰ）

【令和2年度研修】

実践研修 道路構造物管理実務者(橋梁初級Ⅰ) 〈4日間／回〉

- 目的: 道路法施行規則の規定に基づく道路橋の定期点検に関する「必要な知識及び技能を有する者」として最低限必要な知識と技能の習得を目的とする。
- 対象: 地方公共団体職員及び関東地整職員
- 定員: 60名×2回
- 時期: 1回目;~~令和2年7月14～17日~~→延期
令和2年11月24～27日
2回目;令和2年9月15～18日
- 場所: 関東技術事務所
現地実習場所 国道4号 草加高架橋
- 主な研修内容: 定期点検に関する法令及び技術基準の体系
橋梁・土工構造物の構造の基本
主な部材の損傷と健全性の診断
ジェット、大型カルバート等の定期点検要領概論
現地実習(近接目視の演習)
達成度確認試験(学科)



現地実習の状況

地方公共団体支援のための実務者研修（（道路）橋梁初級Ⅱ研修）

【令和2年度研修】

実践研修 道路構造物管理実務者（橋梁初級Ⅱ）〈4日間／回〉

- 目的： 道路法施行規則の規定に基づく道路橋の定期点検に関する知識と技能の習得のほか、橋梁の補修補強、耐震補強等に関する知識の習得を目的とする。
- 対象： 地方公共団体職員及び関東地整職員
- 定員： 60名
- 時期： 1回目；令和2年9月28日～9月30日
2回目；令和2年11月17～19日
- 場所： 1回目； 国土交通大学校 柏研修センター
2回目； 関東技術事務所
現地実習場所；国道6号 呼塚跨道橋
- 主な研修内容： 定期点検に関する法令及び技術基準の体系
状態の把握と健全性の診断
橋の構造の基本
鋼橋・コンクリート橋の損傷、補修・補強
耐震診断・耐震補強
非破壊検査技術の概要と運用
現地実習（近接目視の演習）
実習結果の整理、発表、解説



現地実習の状況

地方公共団体支援のための実務者研修（（道路）トンネル研修）

【令和2年度研修】

実践研修 道路構造物管理実務者(トンネル) 〈3日間／回〉

- 目的: 維持管理・更新に係る本格的なP D C A サイクルへの移行を図るにあたっての人材育成の充実の一環として、老朽化による社会的な影響が大きく、点検による安全性の確認が急務となっているトンネルを対象に、実務的な点検の適切な実施・評価に重点を置いた研修。
- 対象: 地方公共団体職員及び関東地整職員
- 定員: 40名程度
- 時期: 令和2年11月4～6日
- 場所: 国土交通大学校 柏研修センター
現地実習場所(調整中)
- 主な研修内容: トンネル概論
トンネル・付属施設の点検
トンネルの変状と健全性の診断
点検の現地実習、演習記録整理
トンネルの計画と設計
トンネルの施工
トンネルの補修・補強



座学の状況



現地実習の状況

地方公共団体支援のための実務者研修（（機械）排水機場ポンプ設備運転操作講習会）

【令和2年度講習会】 ※緊急事態宣言のため、令和2年度は中止

排水機場ポンプ設備運転操作講習会 〈1日間／回〉

- 目的： 国交省及び地方公共団体の職員を対象として、排水機場ポンプ設備の運転に必要な基礎知識、維持管理における故障回避に関する留意事項等に関する講習会を開催し、技術力及び危機管理能力の維持と向上を図る。
- 対象： 地方公共団体職員及び関東地整職員
- 参加人数： ※平成31年度実績 59名
（うち、地公体受講者：34名、17地公体）
※関東地整職員向けと地公体職員向けを1回ずつ開催
- 時期： 令和2年4月 ※緊急事態宣言のため中止
- 場所： ※平成31年度実績
荒川上流河川事務所 南畑排水機場
- 主な講習内容： 排水機場の基礎知識（座学）
運転に使える状態監視（座学）
運転前点検（屋内）
運転前点検（屋外）
中央操作室による機場中央操作
ゲート自重降下操作



座学の状況



講習の状況

地方公共団体支援のための実務者研修（（機械）機械設備維持管理（河川）研修）

【令和2年度研修】

実践研修 機械設備維持管理（河川） 〈2日間／回〉

➤目的： 国交省及び地方公共団体の職員の技術力育成を目的に、河川に設置されている機械設備（ポンプ、ゲート等）の維持管理における技術力向上のため、構成機器、点検方法、点検結果の評価・判定等について実施事例を基に具体的に演習し、機械設備（河川）の維持管理について基礎的な専門知識を習得する。

➤対象： 地方公共団体職員及び関東地整職員

➤定員： 20名

➤時期： 令和2年10月22～23日

➤場所： web会議

➤主な研修内容：
機械設備の概要と最近の動向
設備の機能・形式
故障防止
状態監視
診断
傾向管理



【河川ポンプ設備】



【河川用水門設備】

対象となる機械設備



故障防止におけるグループ討議
（令和元年度）



傾向管理演習における発表
（令和元年度）